

外から見たJP -アジア太平洋地域/IXPの立場から-

日本インターネットエクスチェンジ株式会社
石田慶樹

立場

- ◆ **アジア太平洋地域のミーティング
(APRICOT/APNIC Meeting) に主に参加**
- ◆ **JPNAP外山さんが代表となるAPIXに初期から
参加**
- ◆ **これらのアクティビティから見えてきたこと**

APIX

◆アジア太平洋地域のIXのフォーラム

- IXP間の技術的／運用的なクローズドな情報交換の場
- オープンな場は別途設置

◆IMF外山さん呼びかけでAPNICの支援のもとに設立

◆沿革

2009年8月 準備ミーティング@APNIC北京

2010年2月 第0回会合@APRICOT KL

2012年8月 規約を決定し正式活動開始

2012年11月 Euro-IX, LAC-IX, と共にGlobal IX
Federation の MoU に署名

日本の現状

◆インターネット／モバイルネットワークは成熟市場へ

- 世界有数のブロードバンド大国
- トラフィックは伸びるが売上は伸びないからコスト低減圧力が高い
- 一方でコストの高止まり要因も多い（電気代）
- 成長市場は上位レイヤもしくは海外へ

アジア太平洋地域(AP)

- ◆ JP等の一部のブロードバンド環境が進化した地域を除いては(急激な)成長市場
- ◆ 「ヒト・モノ・カネ」のうち「カネ」は潤沢
- ◆ 成長市場ゆえに若い「ヒト」が参入可能
- ◆ 上位レイヤのみならず「元気がある」

JPとAP

◆JP→AP

- 今後の成長市場＝拡大のための
- ライバル多し (AP内, US, EU)

◆AP→JP

- 資源や経験 (成熟) に対する期待
- 先行者に対するそれなりの尊重
- 技術力

